

## DiSCによる さまざまなソリューションを 実現するために

HRD株式会社 代表取締役 荻原光雄

DiSC®が日本の人材教育市場に登場してからおよそ13年が経過しようとしています。この間、わが国の社会や人材教育環境は大きな変化を遂げており、DiSCに対するマーケットの期待も進化しています。それに対応するようにDiSC理論の解釈と活用場面も進化を遂げてきました。

DiSCの実践的なツールであるDiSC® Classic (PPS)に対して企業が求めるアプリケーションは、ますます増加しており、これに応じてDiSCは個人の特性分析、自己理解ツールだけでなく、行動評価、さらには他者適用、企業の各セクションの業績向上まで、さまざまなソリューションを実現してきています。

いま、企業にとって最大の課題は、人材の仕事におけるコンピテンシー（ハイパフォーマーの行動特性）を獲得することです。企業は意識変革のみに目を向けるのではなく、自社の社員がどんな行動をとるか、行動自体にフォーカスしてくるようになりました。人間の意識変革は時間を要すが、行動を変えることは、職場環境を整備したり、トレーニングによって可能であることに注目しているからでしょう。

こうした人材教育に対する動向を見ると、DiSCに対するさまざまなニーズ、期待が進化してきていることに気がつきます。DiSCを扱う側もこれらのニーズに対応できる準備が必要となります。このパ

ターンでなければ、トレーニングができないということでは、もう通用できない時代になっていることをトレーナー自身が認識しなければならないでしょう。

HRD社では、これまで開催してきた「DiSCインストラクター資格取得セミナー」を「DiSC認定セミナー」としてリニューアルし、開催期間も従来の2日から3日に延長しました。また、セミナーにおいては、「DiSCファシリテーター用キット」を提供することとしましたが、これらのバージョンアップは、DiSCに対する多角的、多面的なニーズの増加、質的な進化に対応するための施策です。

DiSCの内容そのものは、普遍性を持ち、変わらなくても、時代が変わり、社会が変わり、それにもなってDiSCに対するニーズが多様化し、高度化している現在、インストラクター、トレーナー、ファシリテーター自身の多様なスキル開発を実現するため、「DiSC認定セミナー」へのバージョンアップが必要不可欠であったのです。

1920年代にウィリアム・マーストン博士がDiSC理論を開発したとき、博士自身は現在のDiSCに対する多様なニーズの発生を予想していたのでしょうか。いま、80年の時を経て、DiSCに寄せられる期待は大きく、そして多様なニーズに対応することが求められています。

## DiSCの技術と文化を構築する プロフェッショナルの厚みを痛感

米国インスケープ社は、2005年4月11日から2日間にわたって、「2005年 マインド・ラボ48」をラスベガスで開催した。このラボラトリーは、DiSCをコンサルティングのプログラムとして活用しているアメリカ国内のコンサルタント200人が48時間一堂に集って、DiSC活用の事例などを交流するもの。日本からは代表として、HRD株式会社取締役トレーニング・コンサルタント 十亀敏明が参加した。

私がこの「マインド・ラボ」に参加した目的は大きく2つあった。

まず、インスケープ社がDiSCに対して、どのような商品戦略を現時点で立てているかを肌で感じる。そして二つ目は、DiSCが人材教育の現場の中でどのように変化しているかを探ることであった。

「マインド・ラボ」は、インスケープ社が発信する最新情報を、全米のコンサルタント、販売マネジャー達が、その場で消化吸収していく場面に同席する機会であった。新たなプログラムを描く人、販売のためのネットワークを作り出す人・・・オフィスに戻ってからはなく、まさにその場で動き始める。そこで痛感したのは、2～30年DiSCを使い続けているコンサルタントも最新の解釈、情報には非常に敏感に反応し柔軟に取り込む姿勢であった。さらに、DiSCの表現方法が非常にデリカシーを感じるようになったことである。DiSCは人間を対象とした理論であり、行動分析ツールである。そのため、基本理論である4つの座標軸をどう説明するかひとつとってみても、できる限り偏見を排除するようにブラッシュアップされてきている。

このように、DiSCが年月とともにその解釈をレベルアップさせているのは、インスケープ社やプロのコンサルタントが、DiSCをどのように時代にあったものとして、人材教育の現場にマッチするものとしていったらよいか、その方法を模索し、開発してきたからであろう。DiSCのツール開発で言えば、ペーパー（PPS）からオンライン（EPIC）への提供手段の拡大もそのひとつであり、DiSCを取り扱うコンサルタントの言葉の吟味、再構築への協力などもそのひとつである。

このようないわば、DiSCの技術と文化を形成する背後にあるものは何であろうか。実は、DiSCにかかわるコンサルタントたちの層の厚みである。今回の「マインド・ラボ」に参加した個人コンサルタントたちの中には、DiSC関連販売額が年間1億円に達するものもいる。彼らはそれだけの価値を生み出してくれるインスケープ社に対して、自ら貢献しようとして「マインド・ラボ」においても積極的にシェアしあい、DiSCの使い方などについての具体的な施策、展望を打ち出している。

いま、アメリカのトレーニングマーケットは縮小傾向を見せているが、インスケープ社のDiSC取り扱い量だけは10%の伸びを示しているという。

残念ながら、日本においては、まだこのようなDiSCの厚みは積み重ねられていないというのが、参加した私の率直な感想であった。逆にいえば、日本におけるDiSCはまだこれから、耕すべき豊かな土壌が残っているという見方もできる。

今回、「マインド・ラボ」に参加し、HRD社にとっての使命とは、いかにアメリカのDiSCの技術や文化の厚みを日本に紹介するかであり、また、日本の人材教育の風土や実情に合わせたDiSC開発を行うことの重要性を再認識した次第である。今回HRD社が提供する「DiSCファシリテーター用キット」も、日本における人材教育のニーズを受け止めながら、アメリカのDiSC研究の成果をわが国に取り入れようとするものであり、これからも、このような取り組みを行っていきたいと考えている。

# コーチングに DiSC活用して、 人を活かす

コーチングは、いま人材育成手法として注目されているが、コーチングの第一人者でDiSCを活用している吉田典生氏に、その活用法、これからの使い方などを、吉田氏と同じくコーチングの仕事をしている谷田秀子（HRD）がインタビューした。



**吉田 典生**（よしだ・てんせい）  
有限会社ドリームコーチ・ドットコム代表取締役  
ICF（国際コーチ連盟）認定マスター・コーチ。  
（財）生涯学習開発財団認定プロフェッショナル・コーチ。ジャーナリスト。

**谷田 秀子**（たにだ・ひでこ）  
HRD株式会社  
ICF（国際コーチ連盟）認定プロフェッショナル・コーチ。  
（財）生涯学習開発財団認定プロフェッショナル・コーチ。

## DiSCの使用によって モチベーションが高まる

**谷田** 吉田さんはコーチングの先駆的な存在ですが、どんな対象者にコーチングとトレーニングをされていますか。

**吉田** 主にエグゼクティブを中心に、200人くらいコーチングしてきました。1回のコーチングの時間はおよそ45分。それにウォーミングアップとクールダウンを加えて1時間です。主にマネージャー層を対象に実施するトレーニングは最初に2日間やり、1日目はDiSCを使いますが、自分や他人に対する新たな関心、モチベーションが高まり、とても盛り上がります。2日目にSL を導入します。この二つを組み合わせることで、個別対応と状況対応とができます。

DiSCでやったことを生かしながら、SL を使って一人の部下を想定してもらい、どう接していくかを、私がつくったワークシートに記入してもらいます。こうしてリマインドするところまでで、トレーニングをいったん終了します。

**谷田** この段階ではコーチングは教えないのですか。

**吉田** ええ、それからは受講者に1ヵ月間実際に職場で試行錯誤してもらいます。その後フォローアップの段階になってはじめて、私の方から部下とのコミュニケーション方法をコーチング手法でアドバイスしていくことにしています。

企業にもよりますが、とりあえず3ヵ月職場における実践期間を設定し、その後新しいプランを立てるなどして3ヵ月延長、総合して6ヵ月の研修というのが一般的なケースです。

## DiSCを使うことで 自分の引き出しが多くなった

**谷田** コーチングによる研修でDiSCを使うメリットは、どんなところにあるのでしょうか。

**吉田** コーチングというのはつきつめると個別対応ですが、個別対応に有効なツールとして活用できるのがDiSCです。DiSCは4つのタイプ分類からできていて、この枠組をもっていることが受講者の意識を高める入り口になっている。

そして、DiSCというのはヒューマンスキルを高める格好のツールです。コーチングだけだと、ヒューマンスキルの開

発につなげていくのが難しいが、DiSCではそれができる。それと、DiSCを使う以前と比べて、自分の引き出しがたくさんできたことです。以前コーチングを実施した人で、どうもうまくいかなかった場合でも、DiSCを使うことで、うまくコミュニケーションがとれるケースもありますね。

**谷田** マンツーマンのコーチングの際に、PPS及びPPSSを使うことがありますか。

**吉田** マンツーマンのエグゼクティブのコーチングでいくつかの事例でPPSとPPSSを使っています。個人の自己分析のためにデータを出してみようというのと、みなさん興味を持ちます。その詳細かつ多面的なデータを元に客観的な見直しを図り、さらにコーチングに反映させていきます。出発点は自分に対する多面的な気づきですから、DiSC分析によって自分の再確認を行い、マネジメントの新たな切り口を発見することもできるわけですね。

## いま「部下力」に注目しています

**谷田** 今後、DiSCをどのように活用していけますか。近々出版される本の中でも、DiSCを取り扱っていると聞きましたが。

**吉田** 本の仮のタイトルは「部下力」ですが、上司が部下を動かすのではなく、部下が上司をどう動かすかで企業は変わると考えています。組織の中での貢献度はリーダーが2割、あと8割は部下だと思いますが、その割には部下に光が当たってこなかった。

リーダーシップが大切なのは当然だが、フォロアーズシップと歯車がかみ合ってはじめてリーダーシップが生きてくる。部下が上司をDiSCで見るとどうなるか。また、部下が上司に対して当事者として、どうかかわるかを考えることが重要です。たとえば、上司が「D」のすごく強い人だった場合、部下としてどうかかわったらいいかと……。

**谷田** すごく面白いですね。これができれば、DiSCの使い方としてもオリジナリティのあるものができそうですね。

**吉田** ぜひ成功例をつくってみたいと思っています。

## 「DiSC® Classicファシリテーター用キット」が完成しました

HRD社がDiSCファシリテーター（研修導入者）に向けて開発していた「DiSC Classic ファシリテーター用キット」が完成しました。

いま、人材開発・パフォーマンスマネジメントの分野では、人の「行動」に注目が集まっており、その「行動」を見直し、軌道修正・観察・評価するニーズが高まっています。DiSCを自己理解のみならず、さまざまな分野での他者理解、他者適応のアプリケーションとして提供する機会が急増しています。

ファシリテーター用キットは、DiSCが有しているさまざまなソリューション機能を、プロフェッショナルに提供、導入するために最適なキットです。



### 「DiSC® Classicファシリテーター用キット」のメリット

DiSCをはじめて学ぶ人にとって(ファシリテーター・研修導入者)

妥当性、信頼性、調査に基づく確固たるツールを自信をもって取り込めること。

DiSCをプロフェッショナルに提供・導入するための事前準備が示される。

すでにDiSCを使用されている人にとって

DiSCのバックグラウンドを確認することにより、経験済みの効能を確信、拡大する。

求められるさまざまなソリューションを構築するための、豊富なヒントが入手できる。

プログラム作成、プログラム運営のための豊富な資料が入手可能である。

自社用にカスタマイズしながら、プロフェッショナルな構成、運営が可能となる。

DiSCアライブ! ビデオ、DVDをお持ちの方にとって  
さまざまな切り口で研修効果を高めるシナリオが手に入る。

### 「DiSC® Classicファシリテーター用キット」説明会のご案内

有資格者を対象に「ファシリテーター用キット」の説明会を下記のとおり実施いたします。

開催日：2005年6月2日、3日

場 所：江東区産業会館 東西線東陽町駅4番出口徒歩1分

時 間：PM1:30 ~ 3:30

### 「DiSC認定セミナー」が2日間から3日間に変更となりました

「DiSC認定セミナー」(「DiSCインストラクター資格取得セミナー」を名称変更)の期間が従来の2日間から3日間に変更になりました。DiSCに対する多様なニーズに対応し、さまざまなソリューションを提供するため、より充実したセミナーをファシリテーター、インストラクター、コンサルタントなどの皆さんに提供するためのものです。

### 「DiSC認定セミナー」開催のお知らせ

この3日間のセミナー（公開コースまたは講師派遣コース）を修了すると、DiSC教材の取扱・購入資格が取得できます。

対 象：経営者、管理者、人材開発専門職、教育者、トレー

ナー、教育・研修企画担当者、カウンセラー、コンサルタントなど、人材育成に携わり、人の意識と行動について関心のある方。

開催日：第65回 2005年5月17日(火)~19日(木)

第66回 2005年7月12日(火)~14日(木)

第67回 2005年9月13日(火)~15日(木)

開催時間：9:30(受付9:00~) 終了予定17:30

※必ず3日間共ご参加ください。

定 員：18名

会 場：江東区産業会館(東西線東陽町下車徒歩1分)

参加料：1名様につき157,500円(税込み)

関西地区：関西地区にて受講ご希望の方は、(株)三洋ヒューマンネットワークが主催していますので、お問い合わせください。

### PPS(Personal Profile System)がDiSC Classicに名称変更になります

PPSの名称で親しまれてきたパーソナル・プロフィール・システムが、グローバルな名称変更に合わせて、DiSC Classic(クラシック)となり、表紙デザインのみ変更になります。